



ホットニュース Hot News

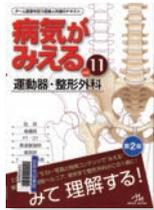
◎図書館の高齢者サービス「元気はいたつ便」

元気はいたつ便は、3つのサービスを主な柱としています。

- ①市内福祉施設への図書の貸し出し
市内の各福祉施設を月一回巡回し、図書の貸し出しを行っています。
 - ②市内福祉施設での回想法の実施
市内の各福祉施設を年一回巡回し、回想法を行っています。昔の懐かしい思い出話や、紙芝居、歌を歌ったりしてみんなで楽しむ時間を提供しています。
 - ③図書館内で“図書館でいきいき!元気タイム”開催
毎月第4金曜日午前10時30分～11時45分まで、中央図書館でゲームや音読などを行い参加者同士の交流の場を提供しています。
- ※サービスご利用および参加希望の方はお気軽にお問い合わせ下さい。



オスナの本



病気がみえるVol.11 運動器・整形外科
 医療情報科学研究所/編集 メディックメディア

五十肩や骨折などよくある病気も原因から最新の治療法まで専門的な内容をイラスト付きで解説。病気で不安な時の手助けに。



日本庭園を楽しむ絵本
 大野八生/作 あすなる書房

四季折々の美しい日本庭園は日本文化の誇りです!日本庭園の歴史や鑑賞の仕方などイラストでやさしく紹介しています。

History Inquiry Club 眞の241 歴史探訪クラブ

文化財課(博物館) ☎22-1720
 吉胡貝塚資料館 ☎22-8060
 渥美郷土資料館 ☎33-1127



三河田原駅開業100年と、田原駅から続く廃線跡

三河田原駅は豊橋鉄道渥美線の終点であり、田原市の玄関口となる駅です。三河田原駅が開業したのは、ちょうど100年前の1924(大正13)年6月10日のことでした。



▲初代三河田原駅駅舎 (1934年、『渥美郡勢総覧』より)

さて、かつて終点が三河田原駅のさらに先にあったことをご存じでしょうか。現在の国道259号の大久保南交差点くろかわばらの東側に、黒川原駅が1926(大正15)年に開業し、終点となっていました。地図で見るととても中途半端な場所に感じられます。これは福江まで線路を伸ばしたかったものの、資金難などでそこから工事が進まなかったという事情によるものです。

三河田原・黒川原間は太平洋戦争の1944(昭和19)年に休止となり、レールははがされてしまいましたが、道路に転用された区間が多く、現在でも跡をたど

ることが可能です。おおむね三河田原駅からララグランのすぐ北側の道を通り、加治地区の丘を登っていくルートがそれにあたります。廃線跡の道路は急な坂道に弱い電車を走らせるために坂をゆるやかにしてあり、このためか現在では、自転車で渥美農業高校へ向かう学生たちの通学ルートになっています。鉄道は廃線になってしまいましたが、現在もその痕跡が人々の足として機能していると考えられます。



▲三河田原-加治間の配線区間の現在

なお、田原市博物館では7月27日(土)～9月29日(日)まで、「開業100年 渥美線展」を開催します。懐かしさ満点の写真などから、長い歴史を振り返っていききたいと思います。

(学芸員 木村 洋介)

※駅のあった場所の地名は大久保町黒川原(くろかわばら)ですが、駅名は「くろかわばら」と命名されています。